

青森中央短期大学 公開授業 「人間と倫理」

場 所 青森中央短期大学 本部棟 051 講義室
日 程 平成23年9月29日(木) ~
毎週木曜日 午後12時50分~午後2時20分
講 師 白取 春彦氏(「超訳 ニーチェの言葉」編訳者)

- 第 1回 考える授業について
カインによる弟殺人の理由について考えてみる
- 第 2回 衛生観念と生き方の結びつきについて考える
物理的な「きれい」「きたない」と心や生き方への結びつき
- 第 3回 同情はどこまで可能かについて考える
同情、あわれみ、同感、友情、愛情の差異はどこにあるのか
- 第 4回 原因と結果について考える
物事は論理的に進行するのか、因果律の最初の原因は神なのか
- 第 5回 心と体について考える
精神と身体はばらばらのものだろうか、心身一如とはどういうことか
- 第 6回 自由と欲望について考える
自分は自由に生きているか、自分は自分をコントロールできているか
- 第 7回 なぜペットに名前をつけるのかについて考える
名前をつける、名前を呼ぶ、とはどういうことか、名前は何を意味するのか
- 第 8回 コミュニケーションについて考える
自分の思いは本当に伝わっているのか、なぜ誤解が生まれるのか
- 第 9回 自殺について考える
自分を殺すことは正当化されるか、自分は自殺に等しい生き方をしていないか
- 第10回 悟りの境地について考える
禅におけるモラルとはどういうものか、禅は日本人の感性をどう変えたか
- 第11回 愛と呼ばれるものについて考える
愛と所有欲はどう異なるのか、不倫も愛の一種ではないのか
- 第12回 時間について考える
本当に時間は存在するのか、時間はどう考えられてきたか
- 第13回 宗教について考える
信仰は人を狂気に向かわせるのか、なぜ擬似宗教がはびこるのか
- 第14回 人生について考える
何を成功と呼ぶべきか、どうすれば自分の力を発揮できるか
- 最 終 回 これまでの授業テーマについて補足の質問に答える
読書や勉強の仕方のコツについて

※各回のみ個別参加可能です。

聴講料 無料

講師略歴

青森市生まれ、獨協大学外国語学部ドイツ語学科卒業
ベルリン自由大学入学。哲学・宗教・文学を学び、帰国後著述業に専念
哲学と宗教に関する解説書の明快さには定評がある。

主な著書

「超訳 ニーチェの言葉」 「ビジネスマンのための「聖書」入門」
「この一冊で「哲学」がわかる」 「今知りたい世界四大宗教の常識」 「語学術」 他 多数

